



2月20日 3月18日

コロナ対策を知事に申し入れました。

2月20日、3月18日の二次にわたり、知事に申し入れました。要請項目は、医療・検査体制の強化、医療・介護等への支援、学校休業、学童保育・放課後デイサービス支援、中小企業・フリーランス支援、文化・イベント活動への支援、資金繰り支援、消費税5%減税、相談体制など多岐にわたります。

5月18日

厚生労働大臣に、雇用調整助成金の改善を求める申し入れを行いました。

1、手続きを簡素化し速やかに助成金を支給、2、事業者が休業手当を支給する前に助成金を受け取ることができるように、3、現行の上限日額8330円、月額16万円を、賃金の8割、上限30万円の補償にすること、などを求めました。

5月18日

経済産業大臣に、持続化給付金の改善を求める申し入れを行いました。

1、webに限定されている申請を、書面の郵送によるものを認めること、2、納税証明書でも申請を受け付けること、3、「雑所得」「給与所得」として申告している人も対象に、4、対象を拡大、追加の給付を、など申し入れました。

5月20日

知事に福岡県持続化緊急支援金に関する申し入れを行いました。

1、緊急事態宣言翌月までとされている期限を、国同様来年1月15日までに、2、収支内訳書など売り上げが分かる資料で受付を、3、「雑所得」「給与所得」として申告している人も対象に、4、webに限定されている申請を、書面の郵送によるものを認めること、など申し入れました。

県民の声を届け、
政治を動かす
日本共産党県議団

日田彦山線問題

一般質問 高瀬菜穂子議員

「約束を守らない国とJRにくみ^{くみ}した」と知事を厳しく批判

高瀬議員は、九州北部豪雨で被災し一部不通が続くJR日田彦山線問題について、「被災路線は復旧する」「赤字路線は維持する」との国会での約束を守らずBRT(高速バス輸送システム)案を進めた国とJR九州を、正面から正すべき知事が「JR九州にくみした」と批判、「苦渋の選択をし、BRTを

受け入れた東峰村住民の気持ちをどう受け止めるか」と追及しました。

また、JR九州が赤字17路線の収支を発表したことに対し、「路線廃止や地元負担を求める意向が透けて見える」「今後、廃線やバス化は許されない」と指摘しました。

「福岡県日田彦山沿線地域振興条例」可決

JR日田彦山線沿線の東峰村、添田町の地域振興を長期的かつ安定的に推進するために、10億円の基金を設置する条例が可決されました。日本共産党も賛成しました。

